

cool-da

だってクールだ IPA 英語 発音

ipa



© The Sherlock Holmes Museum  
221b Baker Street, London, England  
[www.sherlock-holmes.co.uk](http://www.sherlock-holmes.co.uk)

舌の場所どり、それが問題だ。

---



普通のアルファベットでは、単語を見て、  
どう発音するのか分からない場面が少なくありません。

'a'は、'ア'なのか、'エイ'なのか、

それともカエルがつぶれた'ア'と'エ'の中間なのか、判然としません。

普通のアルファベットのくくりでは、ちょっと大雑把な感じです。

IPAは、この問題の解決のために、110年ほど前から立ち上がったプロジェクト。

アルファベットを40ほどのシンボルに分配し、

どう発音するか具体的な方法を示します。

その方法とは、

1. 口の中で、舌の場所をしっかりと定める。

2. 唇を丸める、丸めないの指示がある。

3. 口の開きを大、中、小に分けて調節。

4. 子音では、舌を、上の歯茎に滑り込ませる、

歯茎の少し上を、舌でつつく、といった、個別具体的な指示がきます。

このような操作を行うことで、誰でも、確実に、日本語から、英語に変化します。

そして、もしこれをやらなければ、

いつまでたってもカタカナ発音のままということです。

なので、他に選択肢はありません。

さっそく取りかかりましょう。

## ステージ1 母音の発音と舌の位置をリンクする。

---



'イ' 'ウ' 'エ' 'オ' 'ア'

と発音した時の、舌の位置に注目して下さい。

それぞれの発音に対して、舌の位置がどこにあるか、云える方は、超人です。  
だいたい、口の中の真ん中あたりに置いたままで、発音できてしまうでしょう。  
これでは、普通の日本人風英語になってしまうので、

1. 舌の前の方を盛り上げるようにして、口の前の方の天井あたりに接近させる。  
これで'イ'といいます。  
少し長めに発音すると、唇も左右に引かれる感じがあります。  
口の開きは、小さいと思います。何かクッキリしたような'イ'が聞こえます。
2. 舌の盛り上がり部分を、舌の後方に作ります。  
舌の高さは、1の時と同じです。これで'ウ'といいます。  
こもったような、音が聞こえます。普段の'ウ'とは違う感じですが。
3. 舌の盛り上げ方は、1と同じですが、高さを少し下げ、  
中間位置にして、'エ'と云います。
4. 舌の盛り上げ方は、2と同じ、中間位置で、'オ'と云います。
5. 舌の盛り上げ方は、2と同じ、舌全体を低くして、'ア'と云います。

	舌前	舌中	舌後ろ
舌高い	'イ'		'ウ' 口開き小
舌中	'エ'		'オ' 口開き中
舌低い			'ア' 口開き大

'ウ' 'オ' 'ア' 'オ' 'ウ'のような練習をします。

日本語より少し長めにしたり、口の形を変えるのではなく、  
舌の場所を変えることで、音が変わる感じをつかみます。

ステージ1 母音の発音と舌の位置をリンクする。は終了です。

# non-voiced

英語では、無声音が大いに活躍します。

日本語では、あまり意識すること、ないと思いますが、  
英語では、くっきりと引き締まった発音を演出するキーポイント。  
しっかり調べます。

なお、ipaのアルファベットを表すときは、スラッシュで囲みます。  
無声音は、

1. 単体では殆ど音が出ない。
2. 次にくる文字の音を出すべく、口の中の舌の位置などを変更すると、その刹那、音が出る。
3. 無声音は、以下の9個。

/p/ /t/ /k/ /f/

/θ/ /s/ /ʃ/ /h/ /tʃ/

今、'pet'を発音します。/p/は無声音なので、

1. 唇を軽く結ぶ。
2. これで、'ピー'のような音を出そうとします。  
しかし、唇を閉じているので、'ブー'みたいな音が出ます。
3. 声帯を震わせるという気持ちを持たなければ、  
風の音だけが漏れ出ます。

/t/も無声音です。ʔを見たら、

1. 舌の先端、側面を、上の歯茎にくっつける。
2. この状態をすばやく開放して自然な位置に戻すその刹那、  
つぶやくような、風のような音が出ることでしょう。

/p/の形をつくっておいて、舌を前方に移動、

'エ'のような発音をしようとする、音が出ます。

間髪を入れずに、/t/の操作をする。

そして、舌を自然な位置に戻す時に、'トゥ'のような音が少し出ます。

こうしてみると、日本語の'ペット'と、英語の'pet'の違いは歴然です。

これで、ステージ2 無声音の活躍。は、終了です。



# ipa=list

発音練習の流れ。

1. 発音したい単語があれば、

[http://www.kenkyusha.co.jp/modules/08\\_luminous/index.php?content\\_id=1](http://www.kenkyusha.co.jp/modules/08_luminous/index.php?content_id=1)

にて、例えば hot を入力すると、発音記号 /hát|hót/ が出ます。

2. ipa発音リストを参照しながら、発音練習をします。

3. <http://www.howjsay.com/> などで、'hot' と入力、発音を確かめます。

以下のサイトでは、発音する口元を見ることができます。

<http://www.uiowa.edu/~acadtech/phonetics/english/frameset.html>

# vowel 1

1. /i/ 舌の位置 フロント。

舌の高さ 高い。

舌の先端は、下歯の後ろに置く。唇左右に引く。音は少し長めに出す。

eat /í:t/      week /wí:k/      tree /trí:/

2. /ɪ/ 短母音。

舌の位置 フロント。

舌の高さ /i/ より少し低い位置。

唇左右に引くが、/i/ より軽め。イとエの間のような音が出る。

invite /ɪnváɪt/      pin /pɪ'n/

3. /e/ 舌の位置 フロント。

舌の高さ 中間。

舌の先端のうらは、下の歯の最上部とかすかに接触している感じ。

下あごを少し持ち上げ、軽く引く。

eight /éɪt/      locate /lóukeɪt/      ballet /bæléɪ/

# vowel 2

4. /ɛ/ 短母音。3がひっくり返ったようなシンボル

舌の位置 前。

舌の高さ 中間。

先端は、下歯の後ろに置く。サイドは歯に接する。

下あごを少し持ち上げ、引く。

extra /ɪkstrə/      bet /bɛt/

5. /æ/ 短母音。aとeがくっついたようなシンボル。

カエルがひしゃげたような音。

舌の位置 前。

舌の高さ 低。

先端は、下歯の後ろに配置。他のフロント母音より、下あごを下げる。

唇は丸めない。少し引く。

at /æt, (強)æɪt/      glass /glæs/

# vowel 3

6. /ʌ/ 短母音。

舌の高さ 中間。

舌の位置 中。

あごは、やや下げる。

under /ʌndə/      sun /sʌn/      bu /[bət ; ((強))bʌt/

7. /ə/ あいまい母音。

舌の高さ 中間。

舌の位置 中。

あごは、やや下げる。

asleep /əslí:p/      balloon /bəlú:n/  
zebra /zí:brə | zéb-/      about /əbáʊt/

8. /ɜ:/

舌は、自然な位置より少し持ち上がる。

下あごは少し下がる。音を少しフワフワとレゾネート。

herd /hɜ:rd/      earth /ɜ':θ/      fur /fɜ':/

9. /ə/

舌の高さ 中間。

舌の位置 中。

舌は、自然な位置より少し持ち上がる。

下あごは少し下がる。音を少しフワフワとレゾネート。

唇はすこし丸く。

farmer /fá:mə/      waterfall /wátəfɔ:l/

# vowel 4

10. /u/

舌を自然な位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。

drew /drú:/

11. /ʊ/ 短母音。

舌を自然な位置から、後方にやや高く移動させ、臼歯に接触させる。

舌の根っこはあまり締めたりしない。

foot /fʊ't/

12. /o/

舌は後方だが、uより低め。咽頭を少し締めることで、ウが出てくる。

下あご、やや下がる。

over /'óʊvə/      boat /bóʊt/      hello /hel'óʊ, həl'óʊ/

13. /ɔ/

短母音。

舌は後方、高さは中よりやや低い。

下あごちょい下げ。唇丸くするが、u, oより少なめ。

all /'ɔ:l/      hall /h'ɔ:l/

14. /ɑ/

短母音。

舌の高さ 低い。

舌の位置 後方。

下あごはこの中では1番下げる。

clock /klák | klók/



# vowel 5

## 15. /aɪ/

舌は、後方低めから、前方やや高めに動かしていく。

あごは開いた位置から閉じて行く。

唇丸めない。

aisle /áɪl/      mine /máɪn/      try /tráɪ/

## 16. /aʊ/

舌は、後方低めから、前方やや高い位置へ移動。

あごは、持ち上がってくる。

唇を少しずつ丸める。声帯ビブラート。

hour /áʊə/      mouth /máʊθ/      plow /pláʊ/ すき

## 17. /ɔɪ/

舌は、後方低めから、前方やや高い位置へ移動。

唇は丸めたのを、少しずつゆるめる。

あごは比較的ニュートラルな位置。

oil /ɔɪl/      spoil /spóɪl/      destroy /dɪstróɪ/

# consona1

IPAの子音、24ケのうち、口、唇の操作法は同じで、  
声帯を振動させるか、させないか、の違いだけ、  
というのが、8つあります。1~16がそれにあたります。

## 1. /p/

唇閉じる。無声音。ストップ型。音を全然出なくしておいて、  
貯めといたものポーンと出す。

pot /pát | pót/      happy /hæpɪ/      top /táp | tóp/

## 2. /b/

唇閉じる。/p/と同じ。有声音。ストップ型。

ball /bó:l/      taboo /təbú:/

## 3. /t/

舌の先端、両側は歯茎に接する。無声音。ストップ型。  
舌を自然な位置に戻すと圧迫は解放され、音が出る。

telephone /téləfòʊn/      attack /ətæk/      loot /lú:t/ 戦利品

## 4. /d/

/t/と同じ。舌の先端、両側は歯茎に接する。有声音。ストップ型。

deer /díə/ シカ      radar /réɪdɑː/      bleed /blí:d/ 出血する

## 5. /k/

舌の背を歯茎の上、固い部分、又はソフトな部分にはめる。無声音。ストップ型。

cow /kaʊ/      peeking /pí:kɪŋ/      wake /wéɪk/

# consona2

## 6. /g/

/k/と同じ。舌の背を歯茎の上、固い部分、又は、ソフトな部分にはめる。  
有声音。ストップ型。この時、gaみたいな音が少し出る。

goose /gú:s/ ガチヨウ      ago /əgóʊ/      flag /flæg/ 旗

## 7. /f/

唇歯音。

上の歯で唇の内側部分を触れて音の流れを止める。無声音。

food /fú:d/      lifeboat /láɪbɔʊt/      thief /θí:f/ どろぼう

## 8. /v/

/f/と同じ。上の歯で唇の内側部分を触れて音の流れを止める。有声音。

有声音。モーターが回るような音。つまり摩擦音が出る。

voice /vóɪs/      waiver /wéɪvə/ 権利放棄      above /əbʌv/

## 9. /θ/

舌と歯のコンビ。無声音。

舌は、上の歯のすぐ下、又は上の歯の後部と接触させる。

thing /θɪŋ/      toothbrush /tú:θbrʌʃ/

## 10. /ð/

/θ/と同じ。有声音。

舌は、上の歯のすぐ下、又は、上の歯の後部と接触させる。

舌の表面と上歯の先端で、ズウーのような音。

that /ðæt/      wither /wíðər/ 植物がしおれる      smooth /smú:ð/

# consona3

## 11. /s/

舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させる。無声音。

舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。

soap /sóʊp/    assume /ə'sú:m | ə'sjú:m/    miss /mís/

## 12. /z/

/s/と同じ。有声音。

舌を持ち上げ、舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、

この溝部分をオープン。舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。

zipper /zípə/ チャック。    buzzer /bʌzə/ ブザー。    nose /nóʊz/

## 13. /ʃ/

舌の先端、側面を口蓋につけ、蒸気の出るような音が少し漏れる。無声音。

くちびる少し丸め、突き出す。程度はコンテキスト依存。

shoe /ʃú:/    fishing /fíʃɪŋ/    wish /wíʃ/

## 14. /ʒ/

/ʃ/と同じ。有声音。舌の先端、側面を口蓋につけ、平になった真ん中の溝、舌の表面をそのままそこに置いておく。

くちびる少し丸め、突き出す。程度はコンテキスト依存。

これで、ズイーみたいな音。

vision /víʒən/    beige /béɪʒ/

## 15. /tʃ/

無声音。舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

つぶやくようなチャ。舌を下におろす事でこの音が出る。

chop /tʃáp | tʃóp/    catcher /kætʃə/    watch /wátʃ | wótʃ/

## 16. /dʒ/

/tʃ/と同じ。有声音。舌の先端、側面を口蓋の前方に水平につける。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

ジュみたいな音。舌を下におろす事でこの音が出る。

job /dʒáb | dʒób/    badger /bædʒə/ アナグマ。    cage /kéɪdʒ/

# consona4

## 17. /h/

無声音。

唇、舌の状態はコンテキストにより、変化する。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。

ハッと息を吹きかけるような感じ。

happy /háepɪ/      greyhound /gréɪhʌʊnd/

## 18. /m/

唇は閉じる。

舌の位置はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。鼻音を出す。ウム。

mask /mæsk | má:sk/      amount /əməʊnt/      calm /ká:m/

## 19. /n/

舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。鼻音を出す。ヌー。

knob /náb | nób/      pin /pín/

## 20. /ŋ/

舌を持ち上げ、口蓋の後方のソフトな部分につける。

唇の形はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。鼻音を出す。

singer /síŋə/      ring /rín/

# consona5

## 21. /l/

舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

唇の形はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。オとアの間みたいな音が出る。

late /léɪt/      balloon /bə'lú:n/      fall /fó:l/

## 22. /r/

舌をこぶのようにして持ちあげ、口蓋の固い部分に近づける。

唇はそれほど丸めない。

声帯は、ビブラート。

rope /róʊp/      baron /bæɪrən/      far /fá:r/

## 23. /w/

舌は 後方高い位置、これは/u/ と似た位置。

それより、やや緊張させる。

唇丸く、突き出す。

そして緊張を解いて、オープンにし、次の母音に備える。

声帯は、ビブラート。ウワみたいな音。

最初の位置で、舌を後方に置くこと。

wish /wɪʃ/      awhile /ə'hwáɪl | əwáɪl/

## 24. /j/

使うシンボルは/j/だが、'ヤ'とか'ヨ'のような感じ。

舌は、前方高い位置、/i/と同じ位置、もう少し緊張させる。

そこからオープンな位置に移動

唇の形はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。

咽頭は閉じられる、イヨッみたいな音。

nで舌をつく。そこから高く。

始まりは、前方高い位置を忘れないようにする。

yellow /jélow/      opinion /əpínjən/



# spelling

まず、先に英語という言葉があり、  
アルファベットは、ずっとずっと後に、  
文字を記録できるように輸入されたシステムです。  
なので、音を聞いて文字にしたはず。  
しかし、音をそのままストレートに文字化したとは思えません。  
なにかルールのようなものが存在するのでしょうか。  
ここにご紹介するトピックは、以下のサイトを参考にしています。あわせてご参照下さい。  
[http://www.dyslexia.org/spelling\\_rules.shtml](http://www.dyslexia.org/spelling_rules.shtml)

1. 今、'bate'という単語が発せられました。

かたずをのんで、というような意味がある。

発音は、/béɪt/、'ベイト'のような音。

何故、'バテ'とならないのでしょうか。

尻尾の'e'にその秘密があります。

これは、長母音指定子であって、

前方にある母音は長母音で発音せよ、と云っているのです。

それで、この'e'は、発音すらしません。

これがなかったらどうでしょうか。

'bat'は野球の'バット'ですが、発音は、/bæt/で、短母音になります。

2. 今度は、逆に前方の母音を、短母音で発音するような指定をする場合は、

母音の後ろに子音を2つ挟みます。これで、この後ろに母音が来ても、

前方の母音はプロテクトされ、長母音に発音されません。

'dinner'は、/dínə/となります。

食べるという動詞、'dine'は、/daɪn/、'ダイン'となります。



3. 'c'と、そのダブル使いの'cc'、'k'と、そのダブル使いの'ck'は、  
全て同じ音、無声音/k/を指向します。

cat /kæɪt/ actor /æktə/ public /pʌblɪk/

'cc'では、直前の母音は短母音で発音、となる。

Mecca /mékə/ tobacco /təbækoʊ/ raccoon /rækú:n/

/k/の音の後に、'i' 'e' 'y'がある場合、'k'が使われる。

kind /káɪnd/ make /méɪk/ risky /rískɪ/

直前の母音を短母音で発音するために、'cc' としたいが、  
後に、'i' 'e' 'y'がある時は、'ck'が使われる。

picking /píkɪŋ/ frolicked /fráɪkɪt/ ふざけ Kentucky /kɛntákɪ/

単語の尻尾に'ck'があるときは、直前の母音は短母音となる。

sack /sæk/ duck /dʌk/ clock /klák | klók/

4. 'j'のような音が聞こえている場合、

単語のスペルには、'j'、'ge'、'dge'が使われる。

'j'の音の後に、an、a、o、u、がある場合、'j'が使われる。

jaguar /dʒægwɑə/ jolly /dʒálɪ/ jump /dʒámp/

5. 'g'は、'j'のよりソフトなバージョンと考えられる。

特に後ろに、e、i、y、がある場合、'g'を使う。

gentle /dʒéntl/ ginger /dʒíndʒə/ gym /dʒím/

6. 短母音の後に、'j'がくる場合、'dge'とする。

短母音を保証するため、'jj'としたいが、

英語では'j'のダブル使いは、しないため。

badge /bædʒ/ ridge /rídʒ/ 尾根 gadget /gædʒɪt/ 道具、装置



7. 'ch' という音のスペルは、2つある。

短母音の後なら、'tch'。それ以外では、'ch'。

witch /wítʃ/      sketch /skétʃ/

例外    which /hwítʃ/      rich /rítʃ/      much /mátʃ/

8. 'kw' のような音の時は、'qu' と書く。他の方法は、ない。

そして、発音は、/k/ になる。

quite /kwáɪt/      quiet /kwáɪət/

9. 'le'

語尾に 'le' がくる単語、'little' のような場合、

前方に短母音がある時は、この短母音と 'le' の間には、

子音を2つ入れること。同じもの2つとは限らない。

それ以外では、子音1つ入れる。

li tt le /lít/      ha nd le /háendl/      ti ck le /tíkl/    くすぐる

able /éɪbl/      needle /ní:dəl/      people /pí:pl/

10. 語尾

1. 子音、v、j、k、w、x が、ダブル使いされることはない。

2. 普通、語尾が 'v' で終わる単語はない。この場合、必ず 've' となる。

3. 前方の母音とは関係なく、'e' は置かれる。発音もされない。

have /hæv/    これで、'ヘイブ' とならない理由が説明できた。

give /gív/      sleeve /slí:v/      cove /kóʊv/

# suffix

先頭が母音で始まるサフィックス。

--- age    --- ist  
--- ant    --- ish  
--- ance    --- ing  
--- al    --- ar  
--- ism    --- o  
--- able    --- on  
--- an    --- ous  
--- a    --- or  
--- es    --- ual  
--- ed    --- unt  
--- er    --- um  
--- est    --- us  
--- y    --- ive

子音から始まるサフィックス

--- ness    --- cess  
--- less    --- ment  
--- ly    --- ty  
--- ful    --- ry  
--- hood    --- ward  
--- wise

## ステージ 17 語尾に'y'がある時は。

---

語尾が'y'である単語にサフィックスを加える場合は、この'y'を'i'に変えてからサフィックスを追加する。

body - bodily

marry - marriage

many - manifold

family - familiar

happy - happiness

puppy - puppies

beauty - beautiful

vary - various

company - companion

fury - furious

plenty - plentiful

merry - merriment

語尾にサイレントの'e'、つまり、長母音指定子がある場合、もしも、母音で始まるサフィックスを加えるのであれば、この'e'は取り去ってかまわない。

サフィックスの先頭母音が、この代わりにやることになっている。

ride - riding

cure - curable

use - usual

age - aging

fame - famous

force - forcing

refuse - refusal

slice - slicing

pure - purity

ice - icicle

nose - nosy

convince - convincing

globe - global

race - racist

pole - polar

offense - offensive

## ステージ 18 サフィックスの続き。

---

母音で始まるサフィックスの先頭が、'a' 'o' 'u'のとき、元の尻尾の'e'を残すと、繋がりが良くなる。

manage - manageable

notice - noticeable

outrage - outrageous

surge - surgeon

サフィックスの先頭が子音のものは、元の語尾が、'y'の時は、それを'i'にする以外は、単純に追加すればよい。

peace - peaceful

harm - harmless

age - ageless

pity - pitiful

child - childhood

'sh'という音が、母音で始まるサフィックスの前にある場合、'ti' 'si' 'ci'とスペルを書く。

partial /pɑːrʃəl/

cautious /kɔːʃəs/

patient /peɪʃənt/

vacation /veɪkəʃən/

special /speʃəl/

母音で始まるサフィックスの前に、'ee'がある場合、'i'とスペルを書く。

medium /miːdiəm/

ingredient /ɪŋɡrɪːdiənt/



## ステージ 19 'tion'と'sion'の使い分け。

---

### 12. 'tion'と'sion'の使い分け

元の単語の語尾が、't'の時、'-tion'をつける。

complete - completion

元の単語の語尾が、's'、'd'なら、'-sion'とする。

suppress - suppression

extend - extension

### 13. 母音と母音に挟まれた's'は、'z'と発音される。

nose /nóʊz/    result /rɪzálʃt/    noise /nóɪz/